一般質問

都市計画道路問題について

鈴木 貞正 議員

問 鹿島区あさひ地区でも土地改良区整備事業完了後以降、都市計画道路事業が未着手です。台風19号及び10月25日の大雨による異常な大雨により冠水し、多大なる泥水により浸水、地域住民は事業が遅れている人災だと怒っております。地域住民の思いを把握し尊重するよう努めるべきと考えるが岩妻・茂手線の現状を踏まえた今後の見通しについて伺う。

答 都市計画道路岩妻茂手線の未整備区間約705メートルのうちあさひ地区から鹿島小学校までの区間約375メートルを優先して実施する考えでございます。実施時期については、国の事業認可や実施体制の構築などを進め、早期に着手できるように努めてまいります。

今回の大雨により周辺地区の冠水については土地区画整理事業により周辺地区が盛り土され、くぼ地となった将来道路敷地内に滞水した雨が周辺地区へ越水したものと考えており決して事業の遅れによる人災ではございません。今後、道路整備までの期間については、大雨時においても円滑に排水できるよう将来道路敷地内、流末暗渠部の清掃など、維持管理を充実してまいりたいと考えております。

問 財源について伺う。

答 社会資本整備総合交付金及び地方債及び合併特例債も視野に入れながら財源を確保していきたいと考えております。

あさひ地区の床上浸水

質問を終えて

大きな自然災害に沿う地域に敏速かつ手厚い救済策を早急に講じていくことが緊急課題。

その他の質問

❶新城公園道路の整備について

❷自治のありかたについて

❸多世代交流ができる温浴施設について

災害の教訓を生かし次に備える

岡﨑 義典 議員

問 災害ボランティアセンターのスムーズな立ち上げのため、定期的な設置運営訓練が必要ではないか。

答 今後そのような対応をしたい。

問 栃木県佐野市では、災害ボランティアセンターの運営に関東ブロックや県、県内の他の自治体など多くの社会福祉協議会による応援があった。県社会福祉協議会を中心とした協力体制を構築する必要があるのでは。

答 南相馬市社会福祉協議会を主体として協議していきたい。

問 日頃から市民への防災に対する教育や意識の醸成が必要。

平成30年度西日本豪雨災害で被災した倉敷市から、いわき市にボランティアバスが出たと報道された。本市は災害時相互援助協定を結んでいる自治体が多くあり、物資の支援のみならずボランティアバスを出せば、多くの市民が災害ボランティアを経験する機会になるのでは。

答 南相馬市社会福祉協議会とともに検討していきたい。

問 平成29年度から防災士養成研修事業で養成した25人の防災士がいるが、税を投じて養成しているにも関わらずその役割が明確になっていない。

答 今回防災士の重要性、必要性を改めて認識している。防災士間の意見交換から始めて、今後の防災活動につなげていくような機会を設けていきたい。

南相馬市災害ボランティアセンター

質問を終えて

議会では今回の台風災害に対して調査・検証を行うべく、特別委員会を設置しました。

その他の質問

❶脳卒中センター整備の成果について

❷脳卒中の予防について

❸HPVワクチンの定期接種について

一般質問

皆が使いやすい公共交通を！

栗村 文夫 議員

問 みなタクを利用するには登録が必要で、個別データも蓄積されている。登録や利用の状況について、どのように分析し今後の改善に繋げていくのか伺う。

答 地域ごとの登録者数や利用者数、年代や性別、利用動態などを分析するとともに、アンケート調査も行っております。今後も公共交通活性化協議会やタクシー事業者と協議し、持続可能な制度となるよう努めてまいります。

問 交通弱者は高齢者が多い。みなタクを積極的に登録、利用していただくために今後一層、福祉部局、福祉関連団体との連携が必要になってくると思うが、考えを伺う。

答 これまで地域包括支援センターに対して、みなタクの案内、申請者の作成支援を御協力いただいているところです。さらに高齢者にかかわる団体についてはこれらの御協力などもこれからお願いしていきたい。

問 利用者アンケートを行ったということだが、本当に改善するためのアンケートであれば、登録をしていない人も調査すべきではないか。実態をつかむための未登録者に対してのアンケート、調査の考え等があればお伺いしたい。

答 未登録者について全数調査というのはなかなか難しいところですが、何かしらの面談等でできるだけ声をひろって改善に努めていきたいと考えています。

みなタクパンフレット

質問を終えて

今後、高齢者と交通弱者が増えることは明らか。市民目線の立場での公共交通政策を！

その他の質問

❶ジャンボタクシーの事業計画について

河川堤防の強化と堆砂除去を

志賀 稔宗 議員

問 河川堤防の強化等国土強靭化基本計画の実施状況及び本市での事業化を確実にする積極的な働きかけが重要ではないか。

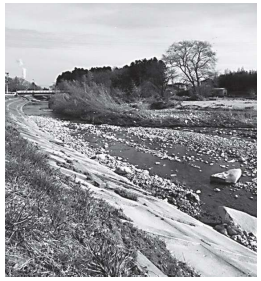
答 本市では災害に強い都市づくりを基本目標に県による多重防潮機能の整備、河川改修堆砂除去等を実施、市は市街地の浸水軽減の幹線排水路整備や道路橋梁等の長寿命化対策を実施している。国土強靭化3ヶ年緊急対策の着実な実施と以降の財源確保が必要不可欠であり全国市長会等で強く要望している。市内河川は河川名を示し相馬地方市町村会でも要望している。台風19号では新田川、太田川、真野川を含め市内河川について県知事に要望した。

問 野鳥を守るために河川内に木を立てている場所がある等河川敷内に繁茂する雑木の伐採、堆砂除去が期待通り進まない現状の打開策については。

答 二次災害を防ぐ堆砂の早期撤去、流れを阻害する立木の伐採を計画的に実施する適切な維持管理を県に強く要望する。

問 小川町等すぐに道路が冠水、宅地は池状態、住民は毎回避難、常に住宅浸水の不安を抱える等水害に弱い地域の対策と解消に向けた取り組みは。

答 小川町地区は隣接する新田川の堆砂により河道が蛇行し流下能力低下が要因と考える。立木伐採と堆砂除去を強く要望していく。



堆砂除去が急がれる水無川

質問を終えて

「防災のまち南相馬」今こそ水害常習地域の解消に本腰を。

その他の質問

❶ダムを防災に有効活用する方途を検討

❷社会福祉協議会との連携強化を一層推進

❸個別通知によりワクチン接種の促進を